

和親会報

(題字) 池田 美智子 氏 (高28回生)

兵庫県立福崎高等学校同窓会事務局 ☎(0790) 22-1200 FAX (0790) 22-1201 発行人 / 田中 美智子

和親会は福高の応援団

親和誠実 剛健優美

福高魂を受け継いで112年

No.49

令和8年度



ごあいさつ



同窓会長

田中 美智子
(高29回生)

同窓生の皆様、日頃は同窓会活動にご理解とご協力を頂いておりますことを深く感謝しております。

会長就任から一年が過ぎ、何度か高校に行く機会をいただきました。校門を入ると中庭にかけて、たくさんの方の石碑があることに気が付きました。石碑に刻まれた碑文は高校の歴史そのものです。福崎高校から播磨福崎高校へとバトンが渡され、歴史が繋がり、歴史を新たに紡いでいくのだと確信した一年でもありました。食堂で出会った男子生徒は「先輩、こんにちは」と声をかけてくれました。全員の初対面であったとしても、同窓生であるということが分かっただけで、年齢などに関わりなく、急に親しくなり、距離が縮まるとはまさにこのことだと思いました。「同じ釜の飯を食った仲」という言葉があります。同窓会は「同じ釜」ならぬ「同じ学び舎で学んだ」という意識によって、親密さを育んでいます。

変わらないつながりをめざして、その役割の一端を担っているのが「職種別生き方座談会」です。これは、社会で活躍している卒業生に授業を依頼し、先輩が母校で授業をするというものです。福崎・播磨福崎高校では毎年一年生を対象に、グループに分かれて実施されています。微力ですが、同窓会が協力と支援をさせていただきます。この時、参加した生徒が「何事にもチャレンジしていきたい」と言っていました。後輩の力強い言葉は、この時に参加した十名以上の先輩の心を熱くするには充分のメッセージでした。

今後も藤原校長先生をはじめ教職員の皆様、PTA並びに地域の皆様と手を携えて、和親会の歩みを着実に進めていきたいと思っております。どうかご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

和親会は「母校の応援団」として役員一同、皆様のお力を借りながら、同窓会をさらに活性化したいと思います。本会の運営や在校生の支援、母校の発展のためにも、和親会賛助金(一口千円)や応援プロジェクトでの寄附等ご協力をお願いいたします。同窓生の皆様方とのつながりを大切に想いをこめて和親会報をお届けしてまいります。なお、会報や総会、行事への参加、連絡、原稿送付など問い合わせは、和親会事務局に専用メールアドレス(会報参照)を開設しておりますので遠慮なくご利用ください。ホームページもご覧ください。

【総会のご案内】毎年六月第四土曜日午前十時、和親会館にて開催します。幅広い年代の方々が集える会であり続けたいと願っています。皆様のご参加をお待ちしております。

福高から播福へ さらなる発展を目指して



校長 藤原良光
【高36回生】

和親会の皆様、平素は福崎高校・播磨福崎高校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。皆様のご理解とご協力もあり、開校2年目となった播磨福崎高校(播福)は順調に教育活動を展開できております。

今年度の入学生は225名と若干定員(240名)を下回っておりますが、文理探究科では倍率1.25倍と総合科学コースの時代を含めてこれまでになかった倍率となりました。これも生徒たちの活躍や同窓生の皆様のご協力のおかげと考えております。神崎郡も少子化のあおりを受け、生徒数の減少が著しく進む中で「元氣な播福」を目指して生徒の確保に努めているところでございます。「数は力なり」という言葉がありますが、学校においても当てはまるものと思えます。現に1、2年生は生徒数が多くなったこともあり、勢い、元氣さを感じます。今後の播福発展のためにも皆様の応援を宜しく願います。

あります。教員が生徒一人一人に丁寧にし、成長を支援するのが福高の伝統でした。播福においても、その伝統を受け継ぎ、生徒の成長をしっかり促す体制づくりに努めているところであります。

また、ハード面でも整備を進めており、探究ルーム(探究活動をするため種々の機材等を備えた特別教室)の整備を昨年末に終わることができました。またエレベーターの設置(理科棟)も完了しました。快適な学習環境が整ってきていますので、これからの生徒たちの活躍が期待されます。さらに、現在約300人規模の収容ができる「講義棟」の建設を和親会館横の駐輪場跡地に建設中です。今年度末には完成する予定です。講義棟では、講演会など日々の教育活動だけでなく、音楽系の部活動のコンサートも開催したいと考えております。完成を楽しみにしてください。

最後になりましたが、今年度の卒業式では福崎高校の「閉校式」を卒業式後に挙げる予定です。開催に当たりまして、同窓生並びに関係各位には何かとご協力を賜ることが多くなると存じます。その際は何卒宜しくお願い致します。

部活動の記録(令和7年度)

運動部

野球 バスケットボール バドミントン
剣道 陸上競技 テニス サッカー
卓球 バレーボール ソフトボール

陸上競技部

近畿高等学校ユース陸上競技対校選手

権大会出場 400mハードル第8位

女子テニス部

西播高等学校テニス大会 団体戦 優勝

文化部

吹奏楽 ギター・マンドリン 美術
茶華道 放送 コーラス 写真
ホームメイド ボランティア

ギター・マンドリン部

全国高等学校ギター・マンドリン音楽
コンクール 優良賞受賞

ホームメイド部

UME-1フェスタ グルメ甲子園
『梅咲き鶏カレー〜和の香〜』

兵庫県立福崎高等学校

ふるさとひょうご寄附金〜県立学校環境充実応援プロジェクト〜

福高生応援プロジェクト

ふるさと納税で福高生の応援をお願いします!!

寄附金活用内容 教育環境の整備充実

備品等の購入・施設整備の改修による福高生の教育環境向上のために活用させていただきます。

目標金額

200万円

学校が統廃合した場合は、兵庫県立播磨福崎高等学校にて活用させていただきます。

寄附額のうち2,000円を越える部分について、一定の上限まで、所得税と個人住民税から原則全額控除されます。ふるさと納税ワンストップ特例制度もご利用いただけます。

寄附状況

令和8年3月末現在 340,000円

兵庫県立福崎高等学校

〒679-2212 兵庫県神崎郡福崎町福田234-1

TEL 0790-22-1200(自動応答⑥ 事務室)

FAX 0790-22-1201

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/fukusaki-hs/NC3/>

お問い合わせ先

職員異動

転入された方々

事務長 谷 栄二
教諭・理科 牧野 尚妙
教諭・保体 梶木 輝久
教諭・国語 福田 とも子
教諭・保体 山田 裕美
教諭・保体 山本 太紀
教諭・理科 志水 正人
教諭・国語 野田 文哉

教諭・地公 佐々木 浩二
教諭・英語 浅田 敬子
教諭・国語 濱上 希実
講師・保体 鹿島 綾乃
講師・養護 村上 侑奈保
事務 尾ノ井 優奈
事務 佐野 美津子

転出・退職された方々

事務長 松本 佳崇
教諭・理科 荒木 隆久
教諭・保体 圓尾 昌博
教諭・国語 山本 美也子
教諭・保体 宮本 拓実
教諭・地公 後藤 伸頭
講師・保体 笹山 誠也
講師・英語 岡崎 奈々

事務 長谷川 奈美
事務 橋本 圭汰



過去三年間主要合格校一覧

国公立大学	人数
大阪大	1
兵庫教育大	3
和歌山大	2
岡山大	2
鳥取大	9
島根大	2
九州工業大	1
兵庫県立大	6
公立鳥取環境大	2
岡山県立大	1
新見公立大	1
島根県立大	1
山口県立大	1
下関市立大	1
周南公立大	1
高知県立大	1
高知工科大	4

川崎市立看護大	1
諏訪東京理科大	1
私立大学	人数
関西福祉大	18
関西学院大	12
関西国際大	1
甲南大	43
甲南女子大	9
神戸学院大	100
神戸女子大	15
神戸親和大	10
神戸常盤大	22
神戸薬科大	1
兵庫大	10
兵庫医科大	8
武庫川女子大	30
流通科学大	24

京都外大	5
京都産業大	22
京都女子大	5
京都橘大	1
佛教大	1
立命館大	4
龍谷大	7
奈良大	1
追手門学院大	6
大阪経済大	8
大阪工業大	23
大阪産業大	11
大阪体育大	2
大阪電気通信大	17
関西大	9
関西外大	13
近畿大	64
摂南大	14

森ノ宮医療大	4
大和大	4
岡山理大	30
川崎医療福祉大	6
松山大	1
駒澤大	3
専門学校	人数
姫路医療センター附属看護	8
姫路赤十字看護専	4
姫路市医師会看護専	3
姫路歯科衛生専	3
神戸総合医療専	6
姫路医療専	5
姫路ハーベスト医療専	3
兵庫県立農業大学校	1
姫路情報システム専	2
神戸電子専	2

日本調理製菓専	3
姫路理容美容専	2

就職	人数
兵庫県警察	2
鳥取県警察	1
自衛隊	2
日本郵便(株)	2
但陽信用金庫	3
福伸電機(株)	1
ヴェル・ハウジング(株)	1



21回生同窓会報告

岩崎文治【高21回】



令和2年3月6日に古希同窓会を予定し準備もすべて整えていた時、コロナが発生し中止が延期かを判断しなければならいと思いましたが、幹事さんと相談し延期を決定しました。出席予定者全員に各クラスの幹事さんから延期の電話を入れてもらいました。

それから5年が経ち延期の同窓会を開催しようという声が上がりました。令和7年11月21日姫路キヤッスルホテルで開催しました。前回の出席予定者と欠席者にも案内をいたしました。

恩師の勝野先生も元気で私たちに会えたことを大変喜んでいただきました。当日は天気も良く82名の参加者で大いに盛り上がりしました。

その一つがビンゴゲームでした。一番最初にリーチが掛かってもビンゴにならずいらいらしたり思わぬところからビンゴの音がかり大いに盛り上がりました。景品も100円から1000円までの間で用意していただきました。その景品の中に削ったその場で当落がわかる「スクラッチ」がありました。その一枚がなんと一千万円の当選券でした。このときは本当に盛り上がりしました。景品を用意してくれた幹事さんのアイデアに本当に驚きました。最後に校歌を歌い上げ、本当に楽しいひとときが終りました。

各クラスの幹事の皆様には数回におよぶ準備会から当日のお世話までいろいろとご苦労をおかけしました。心よりお礼申し上げます。本場にあげがとごさいます。今回の同窓会で幹事会は解散します。今後元氣な方では



年か後に同窓会をと言う声が上がりました。岩崎まで連絡して下さい。資料は残っています。それまでお元氣で過ごして下さい。

36回生同窓会―還暦を祝つて―

藤原良光【高36回】

令和7年11月23日(日)姫路市本町のSORA NIWAにて36回生の同窓会が開催されました。我々36回生は「還暦」という記念すべき年でした。遠くは東京から駆けつけてくれた同級生もつと遠くからの参加者もいたかもしれません。70名を超える同級生が集まりました。残念なことに参加予定だった急な仕事の都合で来られなかった人もいたようでした。恩師の先生方も、荒木英博先生、永井時学、水田先生、市村先生、吉川先生もご出席くださいました。

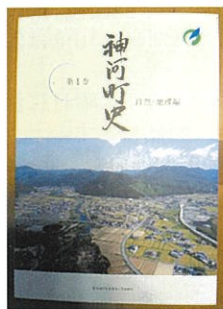
これまで何度か同窓会があったようですが、私は大学を卒業してすぐの同窓会に参加して以来の出席でした。この皆さんのお顔を拝見して大変懐かしかったです。当時の話や現況の報告をしながらあちこちで盛り上がりつつありました。そして、卒業時のクラス毎に記念写真を撮り、次回の幹事の選出を行いました。私のクラス(3-8)では「絶対に幹事になりたい」と気合いを入れてくじを引き、見事当たりました。最後は全員で校歌を歌い、一次会を終えました。

その後は、近くで二次会。多くの人が参加しました。また話があちこちで盛り上がりつつありました。福崎高校が播磨



久後地平氏【旧職員】の執筆『神河町史～自然・地理編』

この度、『神河町史第1巻・(自然・地理編)』の執筆に尽力された。全473頁の大冊で、【第3部動物】の第1章と第3～10章を担当された。以前にも『大屋町史(自然編)』を執筆され、長年のため池の環境観察調査が評価され、3年前には姫路文化功労賞も受賞された。



久しぶりの福崎高校井上英史【高43回】

久しく福崎高校を訪れることがなかったのですが、この度息子がお世話になるご縁をいただき、久しぶりに母校を訪れる機会に恵まれています。校舎、和親会館、クラブハウス、

とこのことで、私のところへはどのように変わったのかを聞きに来られる人が多かったです。生徒はどうですかという質問には「自分たちの頃以上に真面目」と答えていました。(実際そうですが)

学校行事や部活動での観覧等に訪れた際に第2グラウンドを見ると、当時私が在籍していた陸上部の熱心な練習を見る機会もあります。そんな時、当時の思い出がセピア色になりながらも鮮やかに蘇ってきます。その都度、気持ちも新たに前向きな日々を過ごさせてくれます。当時は思いもよらなかった自分の原点、高校生活は人生の通過点ですが大きな分岐点であったことを改めて感じています。このような機会をくれた息子に感謝するとともに、今後も福崎高校の卒業生であることに誇りを持ち、母校の益々の発展を願いながら充実した日々を過ごしていきたいと思っています。

親和の広場

* 53回生同窓会を開催 *

牛尾 祐美子 (高53回)

長きに渡り親和会報を作成くださりありがとうございます。

私は、福岡高校の理数コースを卒業し、男子35人女子5人での3年間でした。同じクラスだった牛尾さんと結婚し、思い出の地である大好きな福岡市を活性化させるためにも福岡高校から徒歩10分の旧小国という国の有形文化財にも指定されている古民家で「農家のごはん」とほぎ」という飲食店を営んでいます。(2024年に閉店その時に福岡駅前の写真館をされているスタジオオカワモトさんと私が高1の時担任だった山本雅子先生がご来店くださりびっくり！そのご縁でことほぎで学年団の先生方を招いてプチ同窓会を開催しました。その時に「来年は学年全員に声をかけて大きな同窓会を開催したいね」と幹事に名乗りを挙げてくれたのが小幡勇介くん。高校へ行き同窓会名簿をもらい会場の予約や全員に招待状を出してくれたお陰で今年のお盆休みにモントレ姫路で同窓会を開催することが出来ました。ただ、お盆休みということで先生方も孫の帰省や体調不良も重なり、松本先生と山本先生のお二人、同窓生は二十四人の参加でした。人数が少なかつた分、舞台で一人ずつ近況を発表したり、先生方との交流も密におこなうこ



とができました。当時あまり交流がなかった三和正典くんが社会で揉まれ個性が磨かれ彼の面白いトークにみんなが笑いに包まれました。次回何年後か分かりませんが、三和くんが幹事を引き受けてくれました。きつと楽しい同窓会になると思いますのでみなさま是非楽しみに。

コッキーズのこれから

藤本 巧 (高25回)

昨年末(Okaka's(コッキーズ)の忘年会を飯田スタジオで開催しました。二年前のエルデホールでのライブから続いています。毎年結集出来るようにしたいと確認出来ました。せめて前期高齢者を卒業するまで続けたいです。ライブする意欲と元気はないですが、ストーリーとライブとYouTubeアップはしたいと確認は合っています。



古希を迎えての人生の歩み

藤村省吾 (高27回)

私は、27回生で卒業して50年になります。40年続けた会社を退職後、違う仕事を転々として、今もパートで働いています。

子ども二人・孫四人とは、別々に生活をしています。ごく一般的な家庭です。

福岡高校時代の友人は、今も交友があります。先輩も後輩も含めて。年一回の親和会ゴルフは、楽しみの一つで一昨年から四名一組参加して三回出場になります。大先輩から後輩との出会いで、スコア関係なしで本当に楽しい時間を過ごせます。いろんなコンペは経験しましたが、他に類を見ないといえます。企画さ

れている先輩方に、本当に感謝です。また、高校時代と友人でゴルフを通じてのふれあいは、ほかにありません。

ゴルフは、太陽のもとでのスポーツ・友人とのコミュニケーション・前向きな向上心を持てる等があり、私にとっては心と体の健康の糧です。

そして、高校時代のバレー部の同窓会を、二十年近く続けています。

ほかに、旅行・飲み会で高校時代の友人との接点もあります。みんな高校時代の話し・家庭の自慢話とかほやきで盛り上がりです。

この年になって、利害関係のない友人は、心がたおやかになりストレス発散になります。

そして、私の思いは。

残り十数年間をいかに健康で過ごせるかだ。それは、心の友人が必要と思っています。心から許しあえる、なにも本音で話しができる、気を使わない楽しいゴルフができる等の。

それに、共に歩んできた妻に対する思いやりを持ち、ギブアンドテイクで過ごしたい。

そして共通の趣味の旅行に行くことが、今のわたしの心境です。

「ステージ人生」

柏井慶一 (高29回)

福岡高校時代から音楽には憧れ、よくちよくギター部に遊びに、そこで知り合ったのが拓郎くん。彼には憧れたな、ギターが上手い。そしたら父が宝くじに当たり、妹がギターを買いました。じに借りて最初に買ったのが何とオリジナ「Want You Love」。それから平凡ソングカバリーで音楽人生がはじまり、アイドル歌手の豊川詠を訪ねてジャニーズ事務所に行き直談判。実は合格通知が家にきたのに、母が家庭が荒れるのを恐れ破り捨て、何とその事実を知ったのがそれから50年後でした。笑。そして姫路で南高の大谷幸広君とかぐや姫や風をカバリーして

第22回和親会ゴルフコンペのご案内

第21回和親会ゴルフコンペは令和7年10月15日(水)栗賀ゴルフ倶楽部において開催いたしました。

最年長は8回生、最年少は44回生(年齢差36歳)女性参加者10人、兵庫県外からは2名の参加を頂き総勢130人でした。

個人戦の優勝はグロス96、ハンディ26.4、ネット69.6の成績で19回生の北山正和さんでした。ベストグロスは24回生の中野秀彦さんがグロス75で獲得されました。そして自分の年齢以下で回るエイジシュートは15回生の林田利貞さんと17回生の長尾脩作さんが達成しました。8回生の牛尾高美さんはピンクのティグランドからでしたが75で回られました。

各回期の上位4人のネットスコアで競う団体戦の優勝は22回生、2位は19回生、3位は21回生、4位は18回生、5位は24回生、6位は15回生、7位は33回生、8位は35回生と9位は17回生、10位は23回生でした。

本年度の第22回の開催日は、原則として10月の第3水曜日に決めていますから今年は令和8年10月21日(水)に開催します。

ゴルフ場は本年度も栗賀ゴルフ倶楽部において開催いたします。

参加申し込みは各回期の幹事さんか、もしくは下記の連絡先へお電話下さい。

《連絡先》

携帯番号 090-3039-8123 後藤雅一(13回生)までお願いします。

練習に明け暮れ、彼と東京でやろうと断りました。彼は2年前に亡くなったが彼は断りました。風のあいつ」と言う曲を残しました。あの時も強引に誘えば奴はくたばらないで居たかも。僕はその後東京にギター一本持って上京。ロッキンロールバンドをいくつか組みましたがなかなか芽が出ないで解散。結成、解散を繰り返して25歳で音楽から離れた。30歳後半に若い奴とシヤルQの「上京物語」を車で聞いて、「こんな俺作れるわ」と音楽再開。その仲間の一入黒川昇が四国に帰ると聞いて、さみしく悲しくて、曲「四万十川」を作りました。彼の東京時代の軌跡を歌に、そして歌い続けていたら、歌手中西圭三さんと出会うのです。彼のプロデュース、ロマンスの神様アレンジャー小西貴博さんとアルバムを作り、ました。今は月に3回4回ライブ活動

結婚式で呼ばれて歌ったり、地域の祭イベント、銀行企業の周年祭、また僕の曲がBGMで駅の構内で流れる計画もあり、なかなか忙しい音楽活動です。昨夜もライブでした。今後は目指すは紅白歌合戦、一回だけ出たい！笑。春には新譜6曲アルバムを出す予定。やはり中西圭三、小西貴博の力を借りて。最後のアルバムとなるかな？最近では若いシンガーソングライター育成プロジェクトも立ち上がり、依頼がありやっています。そんなこんなで音楽人生。※柏井さんはミルキティ専門の大人気カフェ「Milkmouth Tea(モンマスタティー)」「千駄ヶ谷(千駄ヶ谷)のオナー」でもあります。



いい年齢を重ねて

尾花 哲也【高30回】

還暦をとうに過ぎたが、福岡高校時代からの友人がいる。私と同じように白髪頭とお腹回りのたるみに時の流れを感じる。

時折、お互いの家を訪問しては同級生の近況や自身の健康状態などたわいもない雑談に興じるの置きに友人だ。以前、私が手術後に自宅で療養していたときに駆けつけてきてくれたのは本当にうれしかった。世間から取り残されたようで孤独を感じてヤケなことを言ったのにも笑顔で聞いてくれた。夏になると、越知川で釣った鮎を持ってきてくれる。やはり美味い。

ある時、彼の子息が所属しているアマチュア軟式野球チームの監督になったと聞いた。彼は高校時代は剣道部だったのだが、野球経験はなかったはずだが……

後日、そのチームの試合の日程がLINEで送られてきたので観戦することにした。試合前にはノックしたりメンバー表を交換したりとしつかり「監督」している。しかし、選手たちからは「監督」ではなく「おっちゃん」と呼ばれているところが彼の人格か。いざ試合が始まると「集中！集中！」とか、全力で空振りした選手に対して「いよいよ。見えてるよー」と声を掛けるのは監督らしい。試合は実に面白く、今ではすっかり選手の顔も特性も覚え、私設応援団の横断幕をかかえて観戦に行くのが楽しみとなった。チームの応援はもちろんだが監督の応援団でもある。高校時代から彼の印象は何も変わらない。気を遣わずに話せる。さらに年月を重ねて安心感を増している。選手にはなくてはならない存在となっているのは間違いない。一線を退いてもいいような年齢だが、いやいやまだまだだ。これまで

の人生経験が役に立つ。これからの人生、楽しみたいとな。
鮎、また待ってるで。

「福岡高校の思い出」

伊賀 幸平【高62回】

2007年の3月に緊張した心境で迎えた合格発表。自分の受験番号を見つけて安堵した。正門の桜が咲いていて4月に入学した。徒歩と自転車のみの通学であった中学校とは違い、電車で通学する他の学区の同級生も居たりと、接する人も大幅に変わった気がした。部活動にも所属し、夏場のしんどい練習が終わった後には、コンビニでアイスを買ったり、菓子パンを買って家路に向かっていった。授業も中学時代に比べて課目が細分化していった。教えてくださった先生方も個性的だった印象がある。中間や期末テストの科目も増えており、数日間に分かれていた記憶がある。そんなテストが終わった後には、友人達と最寄りのラーメン屋へ行き、お互いを労い合っていた。当時は携帯電話を持っていた。スマホが普及する前のガラケーであった。友人ともショートメールでのやりとりのみであった。今となつては時代の流れを感じる。高校2年になる前に、自分の進路について文系か理系の選択を迫られた。自分は理系に進むことを選び、残りの2年間は理系で過ごした。当時は何となくの選択であったけれども、そんな自分は今、化学系の会社で就職し研究職として働いている。今振り返ってみると、岡山大学の化学系の学科に進み、その後大学院まで進んだ。高校時代に選んだ進路の先に、今の自分がある。さて、高校2年生の冬には修学旅行で海外へ行った。訪問先はシンガポールとマレーシアであり、初めての海外で建造物、物価、食文化等、日本との違いを肌で感じる

ことができた。また、何気なく過ごしている日本での生活も尊く感じられる良い機会となった。3年生になると各々の進路に向けて、これから自分が、より大人になっていくと実感した。卒業後には就職、専門学校、大学と各々の進路は別でも同じクラスで過ごすが、今までのない感覚であった。みんながそれぞれ自分の進路へ目指す姿は、同志のような想いで頑張る原動力になっていた。今でも高校時代に仲が良かった友人達とは、お互いの結婚式に行くような関係となっている。高校在学中だけではなく、その後もつながる友人、やりたい事に出会えて良かったと感じます。今、在学中の方にとっても将来そう思えるような環境であってほしいと思います。

福警会

福警会事務局 楠田 修

私たちは兵庫県立福岡高等学校の卒業生であり、兵庫県警察に在籍している者及び退職した者から構成される「福警会」のメンバーです。福警会では、会員相互の親睦を深めるため、毎年総会を開催しています。

本年も、2月21日に姫路市内のホテルにおいて総会を開催し、和親会長長田中美智子様及び兵庫県立福岡高等学校校長藤原良光様、前会長の中塚昌利様にご参加いただきました。

母校を通じて得られた縁を大切に、県民の安全と安心を守るため取り組んでまいります。

福警会より
寄附三万円「和親会関東支部交流会」について
令和7年 第10回開催報告

関東支部事務局 横田 正【高26回】

第10回関東支部交流会は、令和7年10月26日(日曜)、ホテルグランドヒル市ヶ谷(東京都新宿区)にて開催しました。当日は11時30分に開会し、14時30分まで3時間、和やかな雰囲気の中で進行しました。今回は関東支部として最後の同窓会となりましたが、関東1都6県に在住の4回生から29回生までの23名(男性14名、女性9名)の皆さまに参加いただきました。中でも、90歳代の最高齢の藤川トシ子氏(4回生)、藤原きく子氏(6回生)のお二人がお元気に出席ください、またオリンピック金メダリストで柔道家の松岡義之氏(27回生埼玉在住)にも参加いただき、会場は一層華やいた雰囲気となりました。

司会は大西俊一氏(21回生)が務め、集合写真の撮影に続き、今後の関東支部(交流会)の在り方について協議し、内藤潔氏(17回生)の乾杯の発声で会がスタートしました。参加者全員による1分間スピーチでは、近況報告や懐かしい思い出話が披露され、会話は弾み大いに盛り上がりしました。

また、余興ではジャンケン大会、最高齢者賞、皆勤賞など多彩な企画が用意され、会場は笑顔に包まれました。さらに恒例となつた柏井慶一氏(29回生)によるギターの弾き語りでは、すばらしい歌と軽妙なトークで会場が最



高潮に達し、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。閉会にあたっては、柏井氏のギター伴奏のもと全員で校歌を合唱し、内藤氏の発声により宴を締めくくりました。大変有意義で充実した一日となりましたことを改めてご参加の皆さまに心より感謝いたします。

〈お知らせ〉

福岡高校和親会関東支部について

関東在住(関東1都6県の皆さまへ)日頃より皆さまにはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

今後は新たな交流の場として「福岡高校和親会関東地区親睦会」を発足し、別の形で親睦を深めていくこととしました。

つきましては、親睦会の趣旨にご賛同いただける方は、下記連絡先まで一報くださいますようお願いいたします。

なお、親睦会ではグループLINEを活用し、会員間の連絡や情報共有を行いながら活動を進めてまいります。

現在、すでに21名が登録し、さまざまな情報交換を行っております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

関東支部 横田正【高26回】

【問い合わせ・連絡先】

福岡高校和親会関東地区親睦会幹事

松末隆【高27回】

090-4093-7345(携帯)

PC-mail: t-kax@natsusue.com

菅沼千香子【高29回】

03-5547-1142(勤務先)

PC-mail: office@forest-living.co.jp

6月27日午前10時より和親会館2階において、令和8年度理事会・総会が開催された。

田中美智子会長、藤原隆幸・寶谷しのぶ両副会長ら同窓生29名と学校側から藤原良光校長、藤井俊・鈴木健仁両教頭、谷栄二事務長、校内理事らが出席された。

田中会長より福崎高校への想いや和親会の取り組みをはじめとした挨拶、また播磨福崎高校への発展的統合に向けた事業報告などがあった。続いて渡邊麻美氏より7

福高和親会 令和8年度理事会・総会開く

年度会計報告があり、その後、岩崎文治監事より監査報告があった。次いで新理事(1名)、新回期委員(19名)並びに本年度の事業計画・予算案(和親会報を包括)について提案があり承認された。

本年8月発行の和親会報49号については、前年度同様8頁とし和親会賛助金(前年度までは和親会報基金)を入金していただいた方に郵送することとなった。

最後に、田中会長より播磨福崎高校への発展的統合にあわせた和親会の活動についての報告があった。また福崎高校の百十二年の歩みを記録した記念誌を発行し播磨福崎高校へバトンを繋ぐこととなったとの報告もあった。



和親会総会は令和9年度より毎年6月第4土曜日に開催します。

令和7年度 和親会会計決算報告(R7.4.1~R8.3.31)

◎ 一般会計

1 総括

収入合計	4,478,192
支出合計	671,280
差引残高	3,806,912

2 収入の部

(単位:円)

項目	決算額
前年度繰越金	4,251,692
同窓会費	226,500
雑収入	0
合計	4,478,192

3 支出の部

(単位:円)

項目	決算額
会議費	3,120
通信費	11,900
事務費	130,073
渉外費	50,000
旅費	28,201
慶弔費	80,875
運動文化後援費	25,300
講演音楽会後援費	60,000
同窓会助成金	10,000
福崎高校応援費	65,411
卒業記念品等	206,400
予備費	0
合計	671,280

◎ 会報会計

1 総括

収入合計	1,498,422
支出合計	461,010
差引残高	1,037,412

2 収入の部

(単位:円)

項目	決算額
繰越金	0
広告代	230,000
会報基金等寄付	1,268,422
合計	1,498,422

3 支出の部

(単位:円)

項目	決算額
会報印刷代	303,875
郵送料	73,902
手数料	83,233
合計	461,010

会計監査報告

上記の会計を監査したところ、適正に処理されていることを認めます。

令和8年6月4日

監査委員 岩崎文治

木村真一

会報は和親会賛助金を入金された方に郵送しています。

昨年度入金されなかった方には郵便局の窓口で送金をお願いします。

《送付先》口座番号: 01120-7-3703

口座名義: 兵庫県立福崎高等学校和親会

和親会新理事の紹介

直近2年間の新理事の回生とお名前をお知らせします。

井上	寺河	中	清	藤	谷	藤	木
英	俊	喜	裕	保	博	芳	真
史	紀	晴	巳	夫	昭	一	一
高	高	高	高	高	高	高	高
43	33	31	29	27	20	18	34

ニッポンの窓をよくしたい



株式会社 宇崎商店

MADOショップ 姫路香寺店

代表取締役

宇崎英生 (高50回生)

〒679-2163 姫路市香寺町土師字高室672-1
TEL (079) 232-5008
FAX (079) 232-5064
神崎郡福崎町八千種174-1

Nakatec

株式会社 中塚製作所

代表取締役 中塚昌利 (高24回生)

〒679-2201 兵庫県神崎郡福崎町大貫1034-9
TEL (0790) 22-1111
FAX (0790) 23-0078

中川株式会社

(ハンカチ・パンダナ等縫製加工)

代表取締役 中川一弥 (旧姓 大畑)
(高23回生)

兵庫県神崎郡神河町福本315番地の4
〒679-2415 TEL (0790) 32-0240
FAX (0790) 32-2182



ウシオ精工株式会社

本社

〒679-2203

兵庫県神崎郡福崎町南田原696

TEL (0790) 22-1089 (代)

FAX (0790) 22-5645

株式会社保険屋本舗. 福崎

代表取締役

小幡勇介 (高53回生)

兵庫県神崎郡福崎町福田410-7
TEL (0790) 23-0410 FAX (0790) 23-1961
E-mail: info@hokenyahonpo.net

保険屋本舗.福崎

体操服・学生服 〈有〉かなざわ 金澤正人 (高25回生) 姫路市東駅前町24 TEL (079) 222-8469 FAX (079) 222-8469	株式会社 金田組 相談役 金田敏郎 (高18回生) 姫路市城東町63番地 TEL (079) 288-5380 FAX (079) 224-0053	栗賀ゴルフ倶楽部 株式会社サン・デベロッパー 代表取締役 藤田昌晴 〒679-2434 兵庫県神崎郡神河町吉富1833-6 TEL.0790-32-1621 FAX.0790-32-1626
株式会社 さくらゴルフ 代表取締役社長 植田弘造 (高24回生) 〒679-2203 兵庫県神崎郡福崎町西田原1358番 TEL (0790) 22-0415 FAX (0790) 22-5468	神河の山の幸 明石の海の幸 さんだお ◆仕出し承ります。ご行楽弁当・ご法事膳 他 大中康寛 (高24回生) 矢島加南子 (高53回生) 神河町長谷 TEL&FAX 0790-35-0625 090-7887-6876	amon 株式会社 エーモン 代表取締役 川岸浩二 (高35回生) 兵庫県神崎郡福崎町南田原 2077-1 TEL:0790-22-6262 FAX:0790-22-2715 https://www.amon.co.jp 天然 かすがた温泉 させらぎの湯 兵庫県神崎郡市川町上牛尾半瀬 2073-12 TEL(代)0790-27-1919 www.seseraginoyu.com
喫茶・軽食 ナラ 毎週水曜日、第1・第3日曜日休み 上田健介 (高15回生) 〒679-2414 神崎郡神河町栗賀町416 神崎総合病院前・R312号沿 TEL (0790) 32-1915	スタジオ アッシュ 競技ダンス 社交ダンス ダンス練習場 構美知 (旧姓 酒井) (高21回生) 姫路市香寺町広瀬17-1 TEL (079) 232-7977 営業時間 PM 1:00~PM 10:00	株式会社 モリ モリリフォーム 代表取締役社長 森元宏 (高52回生) 取締役会長 福田正幸 (高32回生) 取締役 森治男 (高24回生) 〒679-2214 兵庫県神崎郡福崎町福崎新263 TEL (0790) 22-0046 / FAX (0790) 22-4641
天ぷらとおでんのお店 マスヤ 赤木宏光 (高25回生) 純子 (旧姓 田中 高25回生) 啓三 〒670-0926 姫路市東駅前町13 TEL 079-222-1071	純米吟醸 ガジロウ 播州福崎 河童サイダー もちむぎ焼酎 ふくさき 株式会社 マルフク 取締役会長 後藤雅一 (高13回生) 神崎郡福崎町福崎新148 TEL:0790 (22) 0290 FAX:0790 (22) 3410	1級建築士事務所 積水ハウス株式会社本体工事店 一般建築工事・土木工事 神プレ建設株式会社 代表取締役 谷総徹 (高32回生) 代表取締役 谷総智哉 (高57回生) 〒679-2415 神崎郡神河町福本614 TEL 0790-32-0513 FAX 0790-32-1733
お申し込み・お問合せは ——— 神崎交通株式会社 〒679-2212 兵庫県神崎郡福崎町福田93番地7 観光バス (0790) 22-3322 FAX (0790) 22-0659 http://www.kanzakikotsu.com E-mail:kanbus@ares.eonet.ne.jp	小松尾建設 小松尾 斉吾 (高44回生) 神崎郡福崎町福田347-10-105 TEL (0790) 22-5710	創業一八〇五年 壺坂良昭 (高46回生) 兵庫県姫路市夢前町前之庄1418-1 壺坂酒造株式会社 http://www.seppiko.jp/
備谷歯科医院 院長 備谷信哉 (高27回生) 姫路市安田4丁目29-1 TEL (079) 281-1343 http://bitanidental.jp	24時間、365日、安心して過ごせるサービスを提供いたします ○愛の里デイサービスセンター ○愛の里訪問介護事業所 ○愛の里訪問看護ステーション ○愛の里安心サポートセンター 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 ○ケアプラン愛の里居宅介護支援事業所 ○愛の里介護タクシー・寝台車事業所 (専用ダイヤル: 0790-22-1721) 有限会社 愛の里 TEL:0790-22-1332 〒679-2201 神崎郡福崎町大貫2321-1 ○愛の里第2デイサービスセンター ○有料老人ホーム れんげ (入居・一時お泊り施設) ○一般労働者派遣事業所 (派28-301777) ○有料職業紹介事業所 (28-ユ-300906) 季節の華 株式会社 TEL:0790-23-0007 〒679-2214 神崎郡福崎町福崎新365番地 いつまでも、これからも… すっと健やかであるために 有限会社 愛の里グループ	

活躍する卒業生①

城谷 章氏【高11回】 新著『日本の世界遺産めぐり』の発刊

城谷^{あきら}章氏、高11回で現在86歳。定年退職してから本格的に旅を続けている。そのきっかけは退職を機に妻まさみさんから「これまで懸命に働いてきたのだから、今後は好きなことを思う存分やってくださいよ」と。

それまで関心があった日本の〈100名城めぐり〉の旅を75歳ではじめた。北海道から沖縄まで日本国中隈無く5年間も旅を続け、その成果は『日本の100名城めぐり』（2020年刊）として上梓された。休息なしに次は日本の〈世界遺産めぐり〉の旅をはじめ、この度『日本の世界遺産めぐり』（2026年刊）として結実した。登録されている26件（自然遺産5件、文化遺産21件）を5年間もの歳月をかけての調査旅行だった。一番印象深かったのは小笠原諸島の世界自然遺産でした。「とにかく遠かった!」「一週間の旅でした」と。

もうお歳なので、これで旅は終わりですかと尋ねたら、最期にもう一つやりたいことがあると。思わずどんな企画ですか? 城谷さんは「第3弾は日本の100名湯めぐりです。今度は5年以上はかかります。人生100年時代ですから」と。名城めぐりにしろ、世界遺産めぐりにしろ、今後の名湯めぐりにしても、どう考えても一人で成し遂げられることではない。大抵はプロジェクトチームを組み、実施されるものである。それをたった一人でやり遂げる「旅する歴史家」城谷さんに底知れぬ体力と知的エネルギーを感じながら取材を終えた。

どうか、いつまでもお元気で。90歳を超える頃に『日本の100名湯めぐり』が刊行される日を心待ちにしています。



佐渡金山にて



小笠原にて



活躍する卒業生②

難波 旅人氏【高63回】 経済アナリストに

本校では3年間ソフトテニス部に在籍し主将を務めた。香寺中学校時代には兵庫県No.1にもなり静岡大学時代も国立大学リーグでテニス漬けの日々を送った。その後、カナダの名門アルバータ大学では英語力を磨き、帰国し大手商社に就職、商社から推薦されて一橋大学大学院経営学研究科に進み修士論文『劣後債および劣後ローンを活用する企業の特徴と信用リスク評価の変化』で修士号を得た。その間、証券アナリストにも合格、現在は商社財務課に勤務しながら新進気鋭の経済アナリストとしても活躍中である。



会報編集委員

難波【高25回】・藤後【高27回】

木村【高34回】・渡辺【高34回】・宮浦【高58回】

和親会事務局

〒679-2212 兵庫県神崎郡福崎町福田234-1

兵庫県立福崎高等学校和親会

FAX (0790) 22-1201

メールアドレス: fukusaki-OBOG@outlook.jp

印刷 中井総合印刷株式会社

事務局便り

ようやく本年度も同窓会報を無事に発刊することができました。前回より和親会賛助金の入金がありました同窓生に送付することになっています。今後ともよろしく願います。

連絡は、ハガキかFAX、メールで願います。